

NEWS RELEASE

画像計測機器事業の生産能力増強のため
常光製作所に新棟を建設
地鎮祭は4月20日

2021年4月15日
浜松ホトニクス株式会社
本社：浜松市中区砂山町 325-6
代表取締役社長：晝馬 明(ひるま あきら)

当社は、科学計測用デジタルカメラや病理デジタルスライドスキャナ、半導体故障解析装置などの画像計測機器の売上拡大に対応するため、常光製作所（浜松市東区常光町）に第5棟を建設します。

新棟建設の地鎮祭は4月20日（火）に執り行い、2022年6月に竣工の予定です。



当社は、医用や産業、学術などのさまざまな分野に向け、高速、高感度、高解像度の画像計測機器を開発、製造、販売しています。現在、科学計測用デジタルカメラや病理デジタルスライドスキャナ、半導体故障解析装置の需要拡大が続いており、今後も売り上げが増加すると見込まれることから、新棟建設により画像計測機器の生産能力を従来の1.7倍まで増強します。

新棟では、科学計測用デジタルカメラと病理デジタルスライドスキャナの組み立てや調整などの生産機能を集約し、スペースを拡張することで需要拡大に対応します。また、段差のない渡り廊下で既存棟と接続し、人や物の移動を効率化することで生産性の向上を図ります。さらに、新棟の部屋内部の柱をなくすとともに電源や空調などの配置を工夫し、レイアウトの自由度を高めることで、生産量や生産品目の変化に対応しやすい設計としています。また、集約により発生する既存棟の空きスペースを利用し、半導体メモリ市場の回復により売り上げが増加すると見込まれる半導体故障解析装置の生産を拡大します。

新棟では、浸水対策として防水シャッターや防水板を設置し非常用発電機や受変電設備を屋上に配置するとともに、耐震天井を採用することで災害対策を強化しています。

地鎮祭および新棟の概要につきましては以下の通りです。

<地鎮祭>

式典名称 浜松ホトニクス株式会社 常光製作所第5棟 地鎮祭
日 時 2021年4月20日（火） 午前10時00分～
場 所 静岡県浜松市東区常光町812番地 常光製作所内 第5棟建設予定地

<新棟概要>

建物名称	常光製作所第5棟
建築場所	静岡県浜松市東区常光町812番地 常光製作所内
建築工期	2021年4月着工、2022年6月竣工予定
稼働予定	2022年8月
建築構造	鉄骨造 地上5階
建物面積	建築面積 1358.90㎡、延床面積 5659.12㎡
施設構成	1階 出荷調整・検査、出荷発送エリア 2階 組み立て、調整エリア 3階 組み立て、調整エリア 4階 クリーンルーム、暗室 5階 事務室、会議室
総工費	約22億円
収容人員	約120名
生產品目	科学計測用デジタルカメラ、病理デジタルスライドスキャナ
生産能力	約130億円（売上高換算）

以上



常光製作所第5棟 完成予想図

<この件に関するお問い合わせ先>

■報道関係の方 浜松ホトニクス株式会社 広報室 野末迪隆
〒430-8587 浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル
TEL053-452-2141 FAX053-456-7888 E-mail:nozue-m@hq.hpj.co.jp
時間外は、携帯電話 080-8262-0374 へお願いします